

## 【観光遺産産業化ファンド】 報徳仕法株式会社に対する投資実行について ～小田原の由緒ある神社と連携した観光と地域コミュニティの拠点創出～

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）は、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組員とする「観光遺産産業化ファンド（以下「本ファンド」という。）」にて、本日、報徳仕法株式会社（以下「当社」という。）への投資を実行しましたので、お知らせいたします。なお、今回の投資は、本ファンドの第3号案件となります。

当社は、神奈川県小田原市にある報徳二宮神社の関連会社で、小田原の地域活性化実現に向けて設立されました。これまで同社では地場柑橘農家と共に地域内での農工商連携による加工品などの企画販売を行っておりますが、この度更なる地域活性化の促進を図るため、小田原市南町（みなみちょう）のにて観光推進事業と地域コミュニティ事業を展開します。

まず本年3月12日に小田原城の南側、旧東海道の歴史的建造物が点在する南町にある遊休不動産をリノベーションした、レストラン・カフェ・フラワーショップの複合施設「Hakone-guchi Garage 報徳広場」を開業します。本施設は、観光交流促進と、地域内での3世代交流を目的としており、観光収入を原資として、地域食堂（子ども食堂やシニア食堂の機能を併せ持った3世代向け食事機会の提供）、ランドリー、配送サービス、こども経済教室（地域ゆかりの二宮金次郎（尊徳翁）にちなみ、子供達が駄菓子屋等を運営しながら、商いやお金の価値・使い方を学ぶ）といった様々な地域住民向けサービスを展開し、地域コミュニティを形成する拠点として運営を行っていきます。

また当施設には、小田原の魅力を再認識すること、調和のとれた心豊かに暮らせる地域コミュニティを形成することのシンボルとして、「小田原ゆかりの路面電車保存会」と600名以上の支援者からの寄付によって、昭和10年から昭和31年まで小田原駅-板橋駅の国道1号線を走り“チンチン電車”の愛称で親しまれた箱根登山鉄道の「町内電車」を設置します。

加えて本年9月開業予定の小田原城近くにある小田原市民ホールに附設する観光交流センター内カフェの運営者も当社に決定しており、前述の南町の施設と併せて、小田原の駅前エリア-小田原城エリア-小田原漁港エリアを有機的に結びつける観光拠点として成長させ、小田原のツーリズム醸成を推進します。

なお、本投資実行と合わせてハンズオン支援をおこなうことで、事業経営基盤強化および地域金融機関をはじめ地域へのノウハウ移転を推進していきます。

本ファンドは今後も各地の地域観光事業者への出資や経営支援を行うことで、観光関連産業の発達を促進し、地域活性化に貢献してまいります。

投資先の概要は以下のとおりです。

会社名	報徳仕法株式会社
所在地	神奈川県小田原市城内
代表者	代表取締役 草山 明久
事業内容	<観光推進事業> ・観光レストラン、カフェ・スイーツショップ、ガーデニング・フラワーショップの運営、小田原市民ホールカフェの運営 <地域コミュニティ事業> ・地域食堂、コインランドリー、配送サービス、シェアリングエコノミー、子ども経済教室の運営

【参考資料】



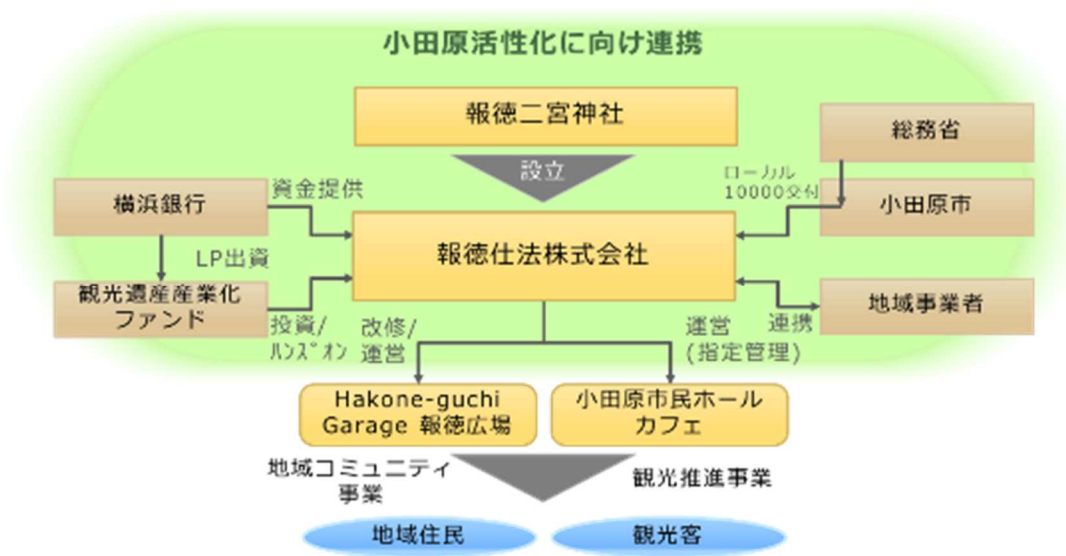
Hakone-guchi Garage 報徳広場 (イメージ図)



小田原市民ホール 観光交流センター内カフェ(イメージ図)



小田原のツーリズム拠点



投融资のスキーム

【観光遺産産業化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/36.html> 機構ホームページをご参照ください。

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <http://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590